

# 第53回全国社会教育研究大会

平成23年度近畿地区社会教育研究大会

平成23年度京都府社会教育研究大会

## 京都大会

平成23年9月20日(火)  
～22日(木)  
(案)

### 大会スローガン

おこしやす おもてなしの心を培う社会教育を!

### 研究主題

『社会的親』の創出による『公共力』の醸成

～見て見ぬふりする社会から、おせっかいな社会へ～

### 日程・会場

	20日(火)	21日(水)	22日(木)
日程	15:00～17:00 (社)全国社会教育委員連合理事会	10:00～11:30 (社)全国社会教育委員連合総会 12:30～ アトラクション 13:00～17:10 開会行事 基調講演 シンポジウム等	9:15～11:30 ポスターセッション 10:00～12:00 パネルディスカッション <テーマ> ・親を育てる ・子どもを育てる ・地域を育てる ・組織を育てる ・自分を育てる
会場	京 都 会 館		長岡京市立中央公民館 宇治市文化センター・宇治市中央 公民館 ガレリアかめおか

#### ☆ 分科会テーマ

「親を育てる・子どもを育てる・地域を育てる・組織を育てる・自分を育てる」の5つのテーマ

#### ◇ パネルディスカッション

全国の社会教育委員等が、それぞれのテーマに沿った実践の交流と協議を行うとともに、会場の参観者にも参加していただく場を設定します。

#### ◇ ポスターセッション

全国の社会教育委員等の豊かな実践を、広く交流し合う場を設定します。

※ パネリストやポスターセッションの報告者は、各都道府県社会教育委員連絡協議会をとおして公募する予定です。

#### 第53回全国社会教育研究大会京都大会実行委員会 事務局

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

京都府教育庁指導部社会教育課内

TEL 075-414-5886 FAX 075-414-5888

e-mail : y-matsuda42@pref.kyoto.lg.jp 【担当：松田】

# 第53回全国社会教育研究大会京都大会南丹ブロック実行委員会規程（案）

## 第1章 総 則

### （名 称）

第1条 本会は、第53回全国社会教育研究大会京都大会南丹ブロック実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

### （目 的）

第2条 実行委員会は、第53回全国社会教育研究大会京都大会分科会南丹会場（以下「分科会」という。）を開催するため、必要な準備並びに企画運営にあたることを目的とする。

### （任 務）

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次の任務を行う。

- （1）分科会運営のために必要な連絡調整に関すること。
- （2）分科会の計画及び予算など企画に関すること。
- （3）分科会運営に必要な事務手続きに関すること。
- （4）実行委員会の会計に関すること。
- （5）分科会報告書及び決算に関すること。
- （6）前各号に掲げるもののほか、大会開催に必要な事項に関すること。

## 第2章 組 織

### （構 成）

第4条 実行委員会は、次の者をもって構成する

- （1）南丹地区社会教育委員連絡協議会（以下「社教委連」という。）の役員、理事、監事。
- （2）南丹地区各市町教育委員会事務局担当者。
- （3）その他、委員長が必要と認める者。

### （役 員）

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- （1）委員長 1名
- （2）副委員長 若干名
- （3）監事 若干名

### （役員を選任）

第6条 委員長は、実行委員会の互選による。

- 2 副委員長は、委員の中から実行委員会の同意を得て委員長が委嘱する。
- 3 監事は、社教委連監事をもって充てる

### （役員の職務）

第7条 委員長は、実行委員会を代表し会務を処理する。また、京都大会実行委員会の委員を兼ねる

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはこれを代行する。
- 3 監事は、会計を監査する。

(役員任期)

第8条 役員任期は、実行委員会に關係のある一切の業務が完結するまでの期間とする。ただし、特別の理由があるときはこの限りではない。

### 第3章 会 議

(会 議)

第9条 実行委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長が議長となって次の事項を決定する。

- (1) 分科会の運営及び報告書に関すること。
- (2) 事業計画に関すること。
- (3) 収支予算及び決算に関すること。
- (4) その他、分科会開催に必要な事項に関すること。

2 会議は現任者の過半数をもって成立し、その決議は、出席者の過半数の同意を必要とする。

3 可否同数の場合は、議長の決するところによる。

### 第4章 専決処分

(委員長の専決処分)

第10条 委員長は、会議を招集することが困難と認めたときは、その議決する事項を専決処分することができる。

2 委員長は、前項の規定により専決処分したときは、次の会議において報告し、承認を得るものとする。

### 第5章 事務局

(事務局)

第11条 実行委員会の事務及び会計を処理するため、南丹教育局社会教育担当内に事務局を置く。

2 事務局に関する必要な事項は、委員長が定める。

### 第6章 会 計

(経 費)

第12条 実行委員会の運営及び事業に関する経費は、京都大会実行委員会から支出される経費をもって充てる。

ただし、平成22年度については、当該年度の社教委連予算をもって充てる。

(会計年度)

第13条 実行委員会の会計は、実行委員会の成立に始まり、決算承認をもって終了する。

### 第7章 補 足

(補 足)

第14条 この規程に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附則 この規程は、平成22年9月17日から施行する。

第53回全国社会教育研究大会京都大会南丹ブロック実行委員会（案）

（敬称略）

役職名	氏名	所属
委員長	宝積玄承	亀岡市
副委員長	小畑弘	南丹市
	中野昭	京丹波町
実行委員	前田厚子	亀岡市
	上野嘉雄	南丹市
	小栗須賀野	南丹市
	太田明平	京丹波町
監事	正田哲也	京丹波町
	隅山国夫	京丹波町

事務局

氏名	所属	電話	備考
広瀬 満	亀岡市・社会教育課 係長	25-5054	
小林 秀範	亀岡市・社会教育課 主任		
平井 静男	南丹市・社会教育課 課長補佐	68-0057	
村山 英紀	京丹波町・社会教育課 係長	84-0028	
前谷 浩之	京丹波町教委派遣社会教育主事		
西田 三郎	南丹局・総括社会教育主事	62-0352	
國府 美幸	社会教育主事		
小嶋 良治	社会教育主事		

平成23年度第53回全国社会教育研究大会京都大会準備日程(案)

年度	月	日	事業内容	
			実行委員会	各ブロック(分科会)
21年度	3	下旬	日程、会場の検討(会場の仮押さえ)	
22年度	4	下旬	第1回実行委員会準備 旅行等幹旋業者選定の準備	
	5	14	第1回全社連理事会・総会 京都大会概要(案)の提示	
		25	第1回役員会及び第1回実行委員会 ・規定・運営組織・開催要項・スケジュール・予算	
	6	11	平成22年度京都府社会教育委員連絡協議会総会(宇治市) 主催・後援の依頼	
	9	3	平成22年度近畿地区社会教育研究大会滋賀大会(大津市) 全国大会京都大会の広報チラシ作成・発送(福島県へ)	
			第2回役員会及び第2回実行委員会 ・賛助金・幹旋業者・市町への依頼	賛助金協力依頼
	10	29~31	第2回全社連理事会・総会 第52回全国社会教育研究大会福島大会	
	11		分科会の実践事例発表者の紹介依頼(全国・近畿)公募	
		26	平成22年度京都府社会教育研究大会(長岡京市)	
	2	中旬	第3回役員会及び第3回実行委員会 ・賛助金・参加費・大会の内容・ブロックの役割分担	分科会の概要確認
	23年度	4	初旬	話題提供者の決定・依頼、司会・助言者の依頼
5		中旬	第1回全社連理事会・総会 開催要項の決定	
			第1回役員会及び第4回実行委員会 ・開催に係わる詳細協議(会場・担当者・冊子・等)	
		中旬	文部科学省、近畿各県、開催市、関係団体名義後援依頼	
		中旬	大会役員依頼文書発送	
		中旬	各都道府県話題提供者依頼文書発送	
		中旬	開催要項全国発送	
		中旬	来賓等依頼文書発送	
6		初旬	来賓等依頼文書発送	
		下旬	話題提供者原稿の提出	
7		初旬	府内大会役割者の決定	
		中旬	分科会役員(府外)依頼文書発送	会場・任務分担の確認
		下旬	看板作成業者説明会	
		下旬	大会資料作成業者説明会	
8		初旬	第2回役員会及び第5回実行委員会 ・分科会運営・参加者確認・配付物等	分科会の運営等についての報告
		初旬	被表彰者の出欠確認	
9		中旬	開会、閉会行事への出席確認	
		下旬	大会参加証・大会資料引換券等発送	
		初旬	総務・庶務・式典関係	
		初旬	大会参加者名簿の作成	
		初旬	大会資料の印刷	
		上旬	(第6回実行委員会) 最終確認	最終確認
		中旬	参加者配布資料袋詰め	
	20	大会会場準備・リハーサル	21・前日準備	
	20~22	第2回全社連理事会・総会 第53回全国社会教育研究大会京都大会 平成23年度近畿ブロック社会教育研究大会 平成23年度京都府社会教育研究大会	分科会当日	
	10			
11				
12				
1	下旬	大会報告書・決算書作成		
2	中旬	第3回理事会、第7回実行委員会 大会報告・決算報告		
	下旬	決算書提出(全社連)		
3				

# 第53回全国社会教育研究大会京都大会

平成23年度近畿地区社会教育研究大会・平成23年度京都府社会教育研究大会

大会スローガン 「おこしやす おもてなしの心を培う社会教育を！」

研究主題 「社会的親」の創出による「公共力」の醸成  
～ 見て見ぬふりする社会から、おせっかいな社会へ～

## 趣 意 書

日頃は、生涯学習・社会教育の推進とともに、京都府社会教育委員連絡協議会の事業推進につきましては、御理解と御協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

さて、この度、下記のとおり第53回全国社会教育研究大会京都大会・平成23年度近畿地区社会教育研究大会・平成23年度京都府社会教育研究大会を府内4市町を会場として開催する運びとなり、実行委員会を設置し準備を進めているところです。

この大会は、全国各都道府県社会教育委員はもとより、生涯学習・社会教育関係者、公民館関係者、その他社会教育関係団体をはじめとして生涯学習・社会教育に関心のある方々を広く対象とし、今後の社会教育推進の在り方について研究協議するものです。

ある調査によりますと、近所の大人に叱られたことがない子が8割、近所の大人と一緒に遊んでもらった経験がある子が2割という結果が報告されています。このような状況に至った原因の一つは、自分の子どものことしか考えられない自己中心的な「私的親」や、地域の子どもの無関心な大人が増えたことにあるのではないのでしょうか。

一方“よその子を自分の子どもとして”叱ったり、遊んだりすることができる地域の大人を「社会的親」と呼んでいます。この社会的親の不在が、子どもをめぐる様々な問題の一因となっていると考えられます。

この社会的親のように、地域の子どものために、あるいは社会のために自分を活かしていこうとする力を「公共力」と考えています。地域社会の教育力が低下していると言われる現代にあっては、公共力をもった社会的親を育てていくことが、社会教育の緊急課題ではないかと思えます。

そこで、本研究大会は、全国各地社会教育委員をはじめとする社会教育関係者が一堂に会し、地域で社会的親を育て、公共力を醸成するために、社会教育委員として何ができるのかを、研究協議することを趣旨とします。

皆様方におかれましては、本大会の趣旨を御理解の上、その成功に向けて力強い御支援を賜りたく、御協力を御依頼させていただく次第です。

何卒、よろしく御高配賜りますようお願い申し上げます。

京都府社会教育委員連絡協議会会長

第53回全国社会教育研究大会京都大会実行委員会委員長 杉本 厚夫

南丹地区社会教育委員連絡協議会会長

第53回全国社会教育研究大会京都大会南丹ブロック実行委員会委員長 宝積 玄承

// 副委員長 小畑 弘

// 副委員長 中野 昭

記

1 主 催(予定)

(社)全国社会教育委員連合、近畿地区ブロック社会教育委員連絡協議会、京都府社会教育委員連絡協議会、第53回全国社会教育研究大会京都大会実行委員会、京都府教育委員会、長岡京市教育委員会、宇治市教育委員会、亀岡市教育委員会

2 期日・日程

平成23年9月20日(火)～22日(木)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
第1日目 9/20 (火)								社教連理事会			
第2日目 9/21 (水)		社教連総会	受付	ア ト ラ ク シ ョ ン	開会行事	休 憩	基調講演	シンポジウム	全 体 会 開 会 行 事	分 科 会 打 合 せ 会	懇 親 会
第3日目 9/22 (木)	受付	パネルディスカッション 形式の分科会									
		ポスターセッション									

3 会場・内容等

	テーマ	内 容	会場・期日
全体会	「社会的親」の創出による「公共力」の醸成	・基調講演 ・シンポジウム	京都会館(9/21)
分科会	親を育てる、子どもを育てる、地域を育てる、	・パネルディスカ ッション	長岡京市立中央公民館(9/22) 宇治市文化センター・宇治市
ポスターセッション	組織を育てる、自分を育てる	・公募による各テ ーマに基づくポス ターセッション	中央公民館(9/22) ガレリアかめおか(9/22)

4 参加対象者及び人数

都道府県・市区町村の社会教育委員および社会教育関係者  
生涯学習・社会教育に関心のある方 約2,000名

5 協賛概要

協賛広告：大会要項冊子(当日プログラム)に広告を掲載

個人協賛：大会要項冊子(当日プログラム)に個人氏名を掲載

印刷部数：大会要項冊子(当日プログラム)を2,500部印刷し大会参加者等関係者に配付

《問い合わせ先》

京 都 府 社 会 教 育 委 員 連 絡 協 議 会

第53回全国社会教育研究大会京都大会実行委員会

事務局 京都府教育庁指導部社会教育課 松田 行生

電話 075-414-5886 FAX 075-414-5888

e-mail : y-matsuda42@pref.kyoto.lg.jp